

中学校第2学年【社会】

◆ 授業改善のポイント

- 単元など内容や時間のまとまりを見通した「問い」を設定し、社会的な見方・考え方を働かせることで、社会的事象等の意味や意義、特色や相互の関連等を考察したり、社会に見られる課題を把握してその解決に向けて構想したりする学習の一層の充実を図ります。
- 図表やグラフ、写真などの多様な資料、地図などの活用を明確に位置付けて指導を行います。資料から考えられることをまとめたり、説明したりする学習活動を繰り返し、資料活用の技能の習熟を図ります。

◆ 今回の調査結果から明らかになった成果と課題

成果：調べて分かったことを表現する方法を適切に選択することについては概ねできています。  
 課題①：複数の資料から読み取った情報を関連付けて考察し、説明することに課題が認められます。  
 課題②：時代の特色(文化の特色や栄えた時期など)についての理解が図られていません。

◆ 成果が見られた問題の概要 大問1(4)「地域調査の手法」(思考・判断・表現)

【設問の概要】

調査で得られた情報の効果的なまとめ方について考察し、判断しているかどうかをみます。

みゆきさんは、これまでに調査したことを、発表に向けてまとめています。次の会話文は、資料について、みゆきさんとはるきさんが話合った場面です。

会話文

みゆきさん： 発表では、この資料を使って、牧之原市の地区別の人口をわかりやすく示したいんだけど、どのようにすればよいか悩んでいるんだ。

はるきさん： 確かに、このまま提示しても、地区別の人口の特徴はわかりづらいかもしれないね。たとえば、この資料にある情報を、地図を用いて表すと、一目で見てわかるようになると思うよ。

みゆきさん： なるほど、いいアイデアだね。



平均正答率 (%)	本県	市町村	自校
	80.7		

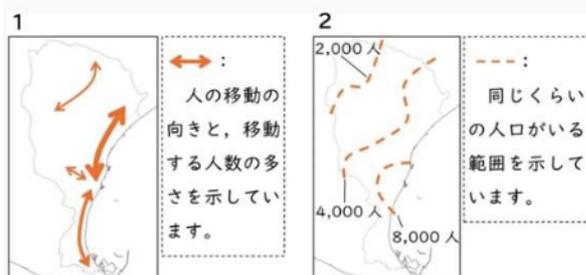
資料 牧之原市の地区別の人口

地区	人口(人)	地区	人口(人)
相良地区	8,571	静波地区	4,841
片浜地区	941	細江地区	6,976
管山地区	2,208	川崎地区	2,810
萩間地区	2,663	勝間田地区	2,299
牧之原地区 (旧相良町)	1,144	牧之原地区 (旧榛原町)	1,248
地頭方地区	3,771	坂部地区	2,104

(牧之原市ホームページ「牧之原市行政区別人口・世帯数(令和7年1月)」から作成)

正答	解答類型	反応率(%)	自校
	1と解答しているもの	4.1	
	2と解答しているもの	9.9	
◎	3と解答しているもの	80.7	
	4と解答しているもの	5.1	
	無解答	0.1	

はるきさんのアドバイスを受けて、みゆきさんが作成した地図として適切なものを、次の1から4までの中から1つ選びなさい。



【指導継続のポイント】

- 様々な資料を適切に読み取ったり、地図を効果的に活用して事象を説明したりするなどの作業的な学習活動を一層充実させます。
- 生徒自らが適切な主題を設けて調べ、多面的・多角的に考察し、学習の過程や結果をまとめる単元を設定します。まとめる際に、学習対象の地域で見られる事象を、地図や図表、グラフなどに表現する学習活動を位置付けます。

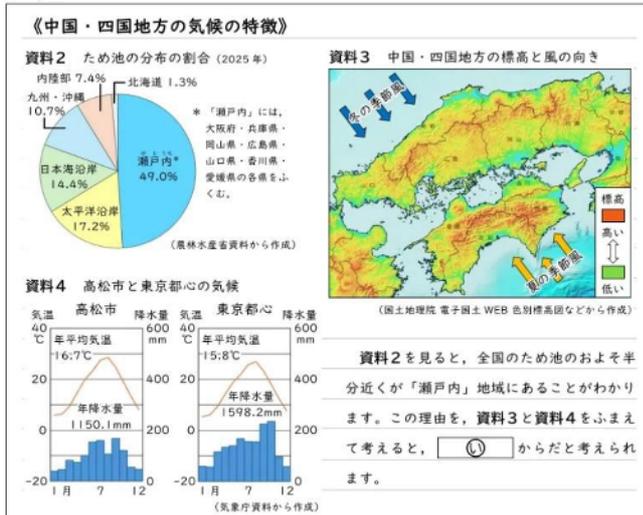
◆ 課題が見られた問題の概要① 大問3(2)「日本の地域的特色」(思考・判断・表現)

【設問の概要】

複数の資料を基に、中国・四国地方(瀬戸内地域)の気候の特色について、複数の資料を関連付けて考察しているどうかをみます。

表の中の㊦のテーマについて、みなとさんたちは、中国・四国地方の気候について調べを進め、次のノート2を作りました。ノート2の㊦にあてはまる内容を答えなさい。

ノート2



平均正答率 (%)	本県	市町村	自校
	25.0		

正答	解答類型	反応率(%)	自校
	条件(a)を満たしているが、条件(b)を満たしていないもの	34.3	
	条件(a)を満たしていないもの ※条件(b)を満たしているかどうかは不明	29.8	
㊦	条件(a), (b)を満たして書いているもの	15.0	
○	条件(a)を満たし、条件(b)に不明瞭な点があるもの	9.4	
	無解答	6.6	
	その他	4.3	
○	条件(a), (b)を満たしているが、資料4の内容から離れているもの	0.6	

- (正答の条件) 次の(a), (b)を満たして解答している。
- (a) 資料4を基に瀬戸内地域でため池が多い理由を適切に書いている。
- (b) 資料3を基に降水量が少ない理由を適切に書いている。
- (正答例)
- ・ 季節風が山地にさえぎられてしまい、一年を通して降水量が少ない。
  - ・ 日本海側と太平洋側から吹くしめった風が山で雨を降らせてしまうので、雨が少ない。 など

【問題点】

- 各資料から読み取った事実同士の関係を考察し、社会的事象(全国のため池のおよそ半分近くが瀬戸内地域にある)の意味を説明する力が十分ではありません。瀬戸内地域の気候の特色については小学校の既習事項ですが十分な定着が図られていないと考えられます。

【改善点】

- 「瀬戸内地域にため池が多く見られるのはなぜか」などの問いを設けて、調べた事実を基に考察し、自分の言葉で説明する学習活動の充実を図ります。その際、教師や生徒が根拠や理由を問い返して進めるようにします。

◆ 課題が見られた問題の概要② 「大問6(1)「近世の日本(江戸時代中期)」(知識・技能)

【設問の概要】

江戸時代の文化の特色や栄えた時期について理解しているかどうかをみます。

りえこさんは、江戸時代に行われた政治や政治改革について、次のメモⅠからメモⅤのように整理しました。

メモⅠ **徳川綱吉**の政治

- ・生類憐みの令を出す
- ・朱子学(朱子学)をすすめる
- ・新しい貨幣を発行する など

メモⅡ **田沼意次**の政治

- ・株仲間間の結成をすすめる
- ・長崎での貿易を活発にする
- ・蝦夷地を調査する
- ・印旛沼を干拓する など

メモⅢ **水野忠邦**の政治改革

- ・倭約令を出す
- ・江戸に流入した農民を村に帰す
- ・株仲間を解散させる
- ・真国船打払令を改める など

メモⅣ **徳川吉宗**の政治改革

- ・上げ米の制を定める
- ・新田開発を進める
- ・公事方御定書を制定する
- ・目安箱を設置する など

メモⅤ **松平定信**の政治改革

- ・江戸に出てきた農民を村に帰す
- ・昌平坂学問所を設立する
- ・旗本・御家人の借金を帳消し
- ・ききん対策に米を備蓄するなど

平均正答率 (%)	本県	市町村	自校
	35.0		

正答	解答類型	反応率(%)	自校
	1 と解答しているもの	17.7	
◎	2 と解答しているもの	35.0	
	3 と解答しているもの	16.1	
	4 と解答しているもの	30.6	
	無解答	0.5	

メモⅠの中の下線部㊸について、徳川綱吉による政治が行われた時代にさかえた文化を説明した文として適切なものを、次の1から4までの中から1つ選びなさい。

【選択肢】

- 1 武士の文化と貴族の文化が交じり合うことで生まれた、質素で落ち着いた文化
- 2 新たに経済力をつけた、上方(大阪・京都)の町人たちが担い手とする文化
- 3 海外との貿易などで力をつけた大名や豪商たちを中心とする、豪華で壮大な文化
- 4 江戸が経済的に発展するなかで生まれた、江戸の庶民を担い手とする文化

【問題点】

- 政治の特色や社会の様子、文化の特色などを関連付けて、時代の特色を理解することができていません。江戸時代に栄えた文化の名称、特色は知っていても、栄えた時期や時代背景と結び付けた理解が十分ではないと考えられます。

【改善点】

- 各時代の特色を大きく捉え、政治の展開、産業の発達、社会の様子、文化の特色など他の時代との共通点や相違点に着目して、学習した内容を比較したり関連付けたりするなどして、その結果を言葉や図などで表したり、互いに説明したりする学習活動を充実させます。
- 各時代の転換点に着目し、歴史的な事象(結果)が生じた原因をまとめたり、説明したりする学習活動を充実させます。指導に当たっては、年表を活用し、いつ頃の出来事であるかを適宜確認する意識をもたせることが重要です。